

10 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	松浦	参加 メンバー	CL:金子 SL:吉田
		報告日	**/**		小久保、川中、町田、吉川
山 域	北アルプス	山行日	13 年 10 月 11 日(金)~ 13 年 10 月 14 日(月)		松浦、沼崎、津田、田口、竹内
山 名	北穂高岳&奥穂高岳	山行目的		コースタイム (天候: 天気図記号)	岸上 部外者 1 名 計 13 名
山行目的		小久保姉やんと愉快的仲間たち 涸沢紅葉と穂高を楽しむ			

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者



【10/11 晴れ】
19:30 刈谷 N1 発
23:45 沢渡 P 着
0:30 就寝
【10/12 曇りのち雪】
4:30 起床
5:30 沢渡 P 発
6:20 上高地発
7:10/8:03/9:05 一本
10:30/11:45 一本
12:30 涸沢到着
【10/13 快晴】
(北穂-奥穂縦走組 A)
4:00 起床
6:30 涸沢出発
6:40 吉田、田口、松浦
奥穂ピストンに変更
7:30/8:33 一本
9:00 穂高岳山荘一本
9:58 馬の背(奥穂山頂通過)
10:10 奥穂高登頂
11:50 穂高岳山荘一本
12:49 一本
13:15 涸沢小屋一本
13:30 涸沢テマ着

(奥穂ピストン組)
6:40 涸沢出発
7:40/8:40 一本
9:40 穂高岳山荘一本
10:20 奥穂高登頂
11:50 穂高岳山荘一本
13:36 涸沢小屋一本
14:15 涸沢テマ着
(北穂-奥穂縦走組 B)
6:30 涸沢出発
7:30/8:33 一本
9:30 北穂高岳登頂
11:00 涸沢岳登頂
11:50 穂高岳山荘 A と合流
【10/14 快晴】
4:00 起床
6:30 涸沢テマ着
7:57/9:55 一本
11:50 上高地着
12:30 沢渡 P 着
13:00 温泉着
16:00 みどり湖 SA 休憩
17:50 恵那峡 SA 休憩
20:10 部室着 解散

〈山行報告〉 ■金曜夜から沢渡Pでテントを張り前泊。楽しい山行を願い乾杯！しばし団樂し就寝 ■1 日目、関東組と合流。夕シで上高地に向かう。上高地は物凄い人の数。涸沢でのテマ確保のため、岸上、吉田、田口の3 名が先発隊として出発。残りのメンバーも後を追う。秋の上高地を感じながら軽快に足が進む。横尾から登山道となり、紅葉で色づく山中を息を切らしながら登る。途中で偶然にも吉田(有)夫妻に遭遇！お互い検討をたえたえあう。雲行きが怪しく、少し雨ががらついたが全員無事に涸沢に到着。先発隊は 1 時間も早く到着し素晴らしい場所にテマを確保してくれた(感謝)この日は冷え込みが激しく、雨も降ってきたため早々にテマ内へ移動。しばらくすると雨の音が変わる・・・外を覗くと何と雪！初冠雪らしい。外は寒いがテマの中は熱い話で盛り上が、宴会が繰り広げられるのであった。■2 日目 早朝起きると、外は雲ひとつない星空！しかし、前日降った雪の影響が気になる。北穂-奥穂縦走組と奥穂ピストン組に別れ、いざ出発！縦走組は涸沢小屋方面から北穂山頂を目指す。しかし、警察の方に呼び止められ本日は縦走は NG と忠告される。ここで吉田、松浦、田口の 3 名は縦走が無理なら奥穂に登りたいと申請し奥穂ピストン組に変更。北穂組の岸上、吉川、津田の 3 名と別れ奥穂山頂を目指す。やはり前日の降雪の影響で岩には雪が付いており、慎重な足取りで進みながら穂高岳山荘に到着。ここから急斜面になり更に雪が多くなる。また風も強くとでも冷たい。寒さに耐えながら鎖を頼りに一気に登る。ようやく奥穂高岳山頂に到着し、皆でしばし最高の景色に見とれる。すると町田部長より円陣を組むぞ！と言われ、何のこっちゃ？と思いつつ円陣を組む。ここで重大報告！？突然、K 中さんからサプライズ報告があり、山頂に歓喜の声がこだまする！下山するのが名残惜しいが、ヒュッテでの乾杯を楽しみに下山開始。穂高岳山荘で、偶然にも北穂-奥穂縦走組と合流。山小屋で縦走 OK の許可が出たようだ。ここからは全員でテマまで下山することとなった。下山後、早々に片づけ

を済まし、ヒュッテのテマに集合。同席させて頂いた女性と共にそれぞれ生ビールなどを涸沢の空にかざし乾杯！最高の一瞬だ。外国のカップルを交えて更に乾杯！■3 日目 早朝に起床し空を見上げると無数の流れ星。それぞれが願いをかけ？帰宅準備を進める。6 時 30 分に涸沢ヒュッテで先日一緒に宴会した女性と合流し、一緒に下山開始。上高地まで一本を取りながら下る。早々に夕シを確保し沢渡 P へ温泉に入り昼食を取る。その後、関東組と涙の別れと再開を近い、それぞれ帰宅の路を取る。晴天に恵まれ、仲間にも恵まれ、最高の涸沢山行となった。幸せだ～！



※写真は菅沼さんより提供。感謝！感謝です！

確認
(リーダー)
金
13/10/30
子
作成
(報告者)
松
13/10/30
浦

〈リーダー所見〉
小久保さんの呼び掛けで大勢の小久保ファンが集まった。
募集案内から計画書作成、不足分のヘルメット手配など決め細やかな
小久保さんの準備でメンバーのムードも徐々に高まった。当日も3日間好天に
恵まれ、紅葉の穂高を満喫することが出来た。澄んだ空気の中、愉快的仲間たちと
山を歩き、眺め、語り、酌み交わす酒は最高の贅沢！
皆さん、また御一緒しましょう。次はどこの山…。 金子



最高の天気にもまれて雄大で荒々しい穂高岳連峰を堪能！
3連休の為、テントの数は驚くほど多く、活気にあふれる涸沢でした。



奥穂高から見えるジャンダルム。一旦奥穂高山頂は通過し、吉田、松浦、田口の3名で馬の背まで行くがルート不明、岩に雪が付いているため危険と判断し、引き返し奥穂高岳登頂



夜になるとテント場は宝石のように輝き、幻想的な雰囲気にも心を奪われる。



同席させていただいた菅沼さん(写真右下)と外国人カップルを交えて全員で記念撮影！
とっても無邪気でグローバルな山岳部(笑)
ここでの生ビールは最高だったな～！



来年は絶対に行くぞ！槍ヶ岳！！こんなに近くで見れて感動でした♪



涸沢の紅葉に乾杯♪また来るよ！